

# 専門・認定看護師 NEWS PAPER

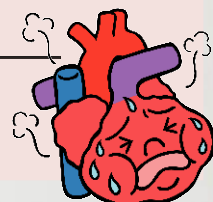
vol.01  
2018.1

慢性心不全看護: 蓑島啓太

岐阜県総合医療センター 専門・認定看護師会

## 心不全について知識を深めましょう！

心不全は完全に治る病気ではありません！ 治っても、徐々に悪化の傾向をたどります。しかし、その悪化の進行を遅らせることはでき、そこに看護師としてできることはたくさんあります。その活動の一部を紹介させていただきます。



### ※ 現在のトピックスは、地域医療とチーム医療です！

10月に秋田で行われた心不全学会のテーマは「超高齢化社会と心不全」でした。心不全パンデミックといわれるように、心不全の患者の割合は増えていくことが予測されています。そのため国の政策とともに、心不全医療もより在宅へシフトしていっています。地域医療の必要性が高まり、訪問看護師やケアマネ、往診医との連携の大切さを再認識しました。また、心不全の悪化予防には生活習慣を整える必要があります。生活を整えるために、医師、看護師、栄養士、薬剤師、リハビリ、MSWなど、それぞれの視点で患者をとらえ、意見交流し、患者にとってより良いケアを考えていくことが必要です。チームで考えたケアを、在宅につないでいくことが大切だと学びました。



## 看護外来を行なっています！

地域

心不全の悪化要因の**5割**は生活習慣にあります。そのため、心不全の指導内容を理解していただき、よりよい療養生活を送っていただくことは、最も大切です。どれだけ指導をしっかり覚えていただいても、完璧な生活をずっと続けられる人はほぼいないと思います。そのため、定期的に自覚症状の変化や、血液検査の結果、体液組成のデータなどからフィードバックを行い、それまでの生活を振り返っていただく場としています。そうすることで、患者さんは自己の生活を振り返り、よりよい療養行動へとつながっていきます。

現在の活動日は月1回、第3火曜日の午前中に心不全看護外来を行っています。平成29年4月より開始し、6名の患者さんが定期的に受診されています。この方々の再入院率が低下し、再入院までの期間も長くすることができます。



チーム

## 当院での取り組みについて



週に1回、多職種で集まり、入院中のケア、退院後のフォローの方法についてカンファレンスを行っています。4月から運用を開始し、20名ほどカンファレンスをしてきました。

患者の生活を整えるために、社会資源の活用や、指導要点の確認、栄養管理や適切な運動療法など、それぞれが専門分野の知識を生かし、意見交換を行っています。

## 心不全のことならご相談ください！

### 今年度、相談に対応した一部を紹介します。

- Q:『患者さんに指導を行っても改善してもらえないような言動が見られません。どうしたらいいでしょうか』  
A:『その患者さんのできている部分を認めて、その患者さんのやる気を少しずつ向上させるような関わりをしてみてください』  
Q:『心不全の緩和ケアはどのようにしたらいいですか』  
A:『答えはありません。ただ、主治医も含め、みんなで一緒に考えることが大切です。心不全チームでも検討し意見をおろしていきたいと思います』

最後に宣伝です。5階東病棟の慢性心不全認定看護師、蓑島啓太といます。現在多病棟に入院している心不全の患者さんには、可能な範囲で月一回ラウンドに行っています。指導がうまくいかない！

辛そうな症状がつづく！

認知症があつて大変！

様々な事例があります。少しでも皆さんの力になればと思いますので気軽に相談ください！

